

週日の説教

金 大烈 神父 2009年8月14日(金)

《夫婦の絆は、神様が結び合わせて下さった》

おはようございます。

今日の福音は(マタイ 19・3 - 12)、結婚についてよく読まれる内容ですけども、これから結婚するつもりの方はいらっしやらないですよ。(笑) その方には別の話を申し上げたいです。(笑)

私たちは本当に数え切れないほどの奇跡の中に生きています。認めますか? 良く考えてみたら奇跡じゃないことは何一つ無い様に見えます。例えましょうか。この中にある(胸に手を当てて)心臓が自分かってに動いていると思いますか。そうでしょう。動くように動くように私たちが希望した訳ではないですよ。それでもこの中で何とか動いています。暑かったら汗が出るし、悲しかったら涙が出ます。色々な事が科学的に分かってきていると言われていても、実際私たち人間が分かっているのは宇宙という空間を置いて見れば、本当にわずかなことだと思います。そして宇宙全体が奇跡と言ってもいいのではありませんか。

とにかく、起きている奇跡の中で、今日皆様と話したい奇跡は、1人の女の人が1人の男の人に出会って一生一緒に夫婦の絆で生きることです。不思議ですよ。皆様、なぜその相手に当たっているか分かりませんか。なぜ今まで一緒にいたのか。これも不思議ですよ。考えて見ますと、この時代はものすごく離縁がし易いように思えます。なぜなら離婚する人が結構いるからです。しかし、離縁していると言っても多分、理由のない離婚は無いと思います。そしてし易く出来た離婚も無いと思います。なんとか一生懸命にやって見ようと頑張ってみたけれども、自分の力とか、自分の弱さとか色々な事によって結果的に離婚してしまった人々が100%だと思います。ですから、もどかしい心で悲しく思うのは当然かも知れませんが、あの人はなぜ離婚したのかと指さす必要もないし、ただ、その人との痛みを一緒にすることがなによりも必要じゃないかと思います。

さあ、人間は自然の一部分だと言われております。自然の特徴は何でしょうか。謙遜です。ありのまま全てを、受け入れる力を持っていることが自然の一つの特徴です。夫婦の縁の中でも一番必要なことは謙遜ではないでしょうか。お互いに、自分が自ら低い所に動いて、相手を見ようとする心がなかったら、いつも疲れてしまいます。残っている人生に、変わらない夫婦の絆を保って行くためにも意識しなければならない事だと思います。喧嘩があった時に、何か口争いがあった時によく考えて見て下さい。「ああ、この人なぜこんな言い方をして、私を軽んじてしまうのか」。それは夫の立場でも妻の立場でも同じだと思います。夫婦の関係の中では、相手に対して愛情を感じられる唯一の方法は相手から認められることだと思います。「この人は誰も私を認めてくれなかったのに、私を認めてくれた。良いところも悪いところも、私の喜びも痛みも理解してくれる」。そういう気持があれば、夫婦は何があっても克服します。それが夫婦じゃないかと思います。

皆様お互いに夫婦の縁は、神様が結び合わせて下さったことをいつも意識しましょう。また、その結び合いによって生まれた色々な命、その子供達のことを考えながらお互いに大事にして下さい。自分が大事にする唯一の方法は自らが謙遜になり、低いところに留まることだと思います。

今日はお父さん達も結構いらっしやるようですが、男女の違いについて一言話してみます。先ず、男の特性についてです。例えとして自分のことを考えて見ます。自分にはある位、年の差がある二人の妹達がいます。自分が何か口にした時に、反対する態度とか素直でない言い方をすると、何となく腹が立ちます。そしてよく考えて見ても、自分が間違えているところは無いと思う場合に、「うるさい」と言う心が反射的に生じます。それで、叱ってしまった時が沢山あるのを覚えています。これが男の癖じゃないかと思います。ですから“男の人は自尊心(プライド)で生きる”という話があるの

です。女の人はそのプライドを出来るだけ傷つけないようにした方が良いと思います。これはいつの世でも変わらないことです。例えば、もしご主人が、間違いを起こしても、その場では責めないで下さい。ご主人の方が自らすまない気持ちに自然になるのを待ったほうが賢明だと思います。その場で「あなた、それは間違っているんじゃないの」と言ってしまうたら、それは理屈無しに腹が立つものです。「このやつ何んて事を言うんだらう」と。

そしたら、女の特性について話します。“女の人感動で生きる”と言われていています。感動させて下さい。ご主人が特別な魅力的要素が少なくても、奥さんを感動させることが出来たら、その奥さんは一番幸せな妻になります。女性には過去の事を絶え間なく繰り返して言おうとする傾向があります。その時には席を避けてください。女性につけた傷が癒される為には、努力と忍耐力が必要であることを忘れないで下さい。出来るだけ奥さんを感動させてください。癒されます。私たちがこの二つの事を意識することが出来れば何とか離婚にならずにすむのではないのでしょうか。

皆様一つだけ結婚式の説教で使っている事がありますので紹介します。水がいっぱい入っている2つのコップがあります。美しい夫婦生活の絆を体験するためには、自分が今まで持って来たコップの「杯の水」を半分出して捨てなければなりません。半分ずつ空にしてから、1つのコップにそれを入れて、新たな絆を築かなければならないのです。

このように言いながらも、私が結婚したらなかなか出来ないと思います。(笑)自信がありません。ですから、イエス様が今日の福音の最後にこのように語って下さったのではないかと思います。

『天の国のために結婚しない者もいる』と。(笑)

ありがとうございました。